

# 樹秀榮

# 古典への

# いざない

舞踊 常磐津「老松」

対談 「現代に生きる伝統芸術」

ゲスト 高取焼十五代 亀井味楽

舞踊 地唄「雪」

舞踊 清元「流星」



2015年12月6日(日) 12:30開場 13:00開演 入場料 3,000円

大濠公園能楽堂

〒810-0051 福岡県福岡市中央区大濠公園1-5  
tel.092-715-2155

後援

福岡県、福岡県教育委員会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社  
RKB毎日放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送

# 樹秀榮 古典へのいざない

## 演目

- ①舞踊 常磐津「老松」
- ②対談 「現代に生きる伝統芸術」  
ゲスト：高取焼15代 亀井 味楽
- ③舞踊 地唄「雪」
- ④舞踊 清元「流星」

## 舞踊 常磐津「老松」

常磐津節の中で最も古いご祝儀曲で、能の謡曲「老松」から取材した作品です。  
まず始めに松のめでたさを荘重に踊ります。  
次に秦の始皇帝より太夫の称号を与えられたという故事に伝えられた松の話、そして最後は松に巣を作る鶴の姿など家の繁栄を願うめでたい内容の構成になっています。

## 対談 「現代に生きる伝統芸術」

ゲスト：高取焼15代 亀井 味楽

- ①日本舞踊と陶芸の楽しみ方
- ②なぜ伝統芸術が必要なのか？
- ③生活に生きる伝統芸術

## 舞踊 地唄「雪」

この曲は大阪南地の芸妓そせきが、想う男に捨てられ尼となった心境を表現したものです。

前半は過ぎ去った恋人を想う心を雪に託し、雪の降る夜半にしんみりと聞こえて来る鐘の音に独り寝の侘しさがひしひしと身に迫るといふ孤閨（こけい）の嘆きを表現します。

後半は捨てた浮世への悟りきれない煩惱が頭によぎり、くどいまでに迷う女心を表現します。一挙手一投足の末端までおろそかにしない樹流ならではの優美な舞いです。

## 舞踊 清元「流星」

舞台はすべて雲の上という設定で、七夕の晩に牽牛と織姫が逢瀬を楽しんでいるところへ流星（夜這星）がかけつけて、雷夫婦の喧嘩のありさまを報告するという別名「夜這星」とも言われる奇抜な趣向の舞踊作品です。

この度は牽牛と織姫は登場せず流星だけの独舞です。夫婦喧嘩の話となる事で、流星は雷の夫婦と子雷、婆さん雷の四人の役を仕方斬風に踊り分けます。

夫婦喧嘩の原因は端唄の師匠宅に落っこちて（惚れこんで）居候してしまった亭主かみなりに女房かみなりが腹をたてたことに始まります。子雷、婆さん雷が仲裁に入り仲直りをするまでのありさまを牽牛と織女に報告し終え、流星が空へと戻っていくまでを演じます。

軽快で洒落な作品で日本舞踊の中では奇抜でありながらとても楽しめる作品です。



かめい みらく  
陶芸作家 高取焼15代 亀井 味楽

筑前黒田藩窯 高取焼味楽窯 15代当主 本名 正久  
京都私立嵯峨美術大学 陶芸科卒  
日本工芸会正会員

福岡を代表する窯元として日本国内に留まらず海外でも個展を開催。

平成26年、米国ボストン美術館に作品寄贈。

また今年は米国ワシントンDCにあるフリーア美術館が作品買取しそれぞれ収蔵品となっている。

作陶もさることながら各陶芸教室の講師も務め、陶芸の醍醐味を伝えている。

平成28年には西皿山窯（現在の味楽窯の地）が開窯300年を迎える。



2015年12月6日回  
12:30開場 13:00開演 入場料 3,000円  
大濠公園能楽堂

〒810-0051 福岡県福岡市中央区大濠公園1-5  
tel.092-715-2155

《お問い合わせ》

樹会事務所 tel.092-752-3727